

実績報告書

令和 3年 3月31日

団体名 綾部市災害ボランティアセンター

事業の目的	綾部市地域防災計画に規定する「災害ボランティアセンター」を常設し、平常時から研修や訓練などを通じ参画団体の連携や活動体制の整備を進め、被災者の早期生活復旧を支援することを目的とする。
事業の名称	綾部市災害ボランティアセンター事業
事業費 (市補助金)	<u>368,263円</u> (100,000円)
補助金の使途	綾部市災害ボランティアセンターが主催する、研修会等の経費及び災害時の活動に必要な資機材の整備
事業実施期日	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日
事業実施場所	綾部市内一円
事業の概要 (事業の実施方法、内容について記入してください。)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 災害ボランティア活動の情報交換及び調査・研究活動 ・綾部市災害ボランティアセンター運営委員会の開催 (5/18、7/29、9/29、12/8) 2) 研修会や講演会の開催 ・ミニ講座(7/29:災害ボランティアセンター運営訓練、9/29:避難所運営における新型コロナウイルス感染症対応、12/8:星原町における自主防災の取り組み) 3) 市外災害ボランティア組織との連携及び協力 ・京都府災害ボランティアセンター、災害時連携NPO等ネットワークへの加盟 4) 資機材の整備 ・温度検知カメラ、非接触体温計、ベルトパーテーション等
補助金の効果(成果) (計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運営委員会を定期的に行うことで、団体・機関間の連携が継続的に進んだ。 2. コロナ禍における災害ボランティアセンターの運営について、運営訓練を行い、感染予防をしながらの運営について、意見交換を行うことができた。 3. 災害支援や感染予防にかかる資機材整備ができた。 4. 新たに綾部ライオンズクラブが運営委員会に加入し、ネットワークの強化が図られた。

様式第4号（第3条及び第7条関係）

収 支 計 算 書

令和3年3月31日

団体名 綾部市災害ボランティアセンター

(単位 円)

収入の部	区 分	予算額	収入済額	明 細
	繰 越 金	4,084	4,084	令和元年度会計から
	補 助 金	250,000	350,000	綾部市 100,000 円、綾部市社協 150,000 円、京都府災害ボラセン 100,000 円
	寄 付 金	0	20,000	商品券
	雑 収 入	1,000	0	
	合 計	255,084	374,084	
	支出の部	区 分	予算額	支出済額
賃 借 料		15,000	6,300	会場借上げ
謝 金		10,000	5,000	講師謝礼
旅 費		15,000	0	研修旅費
印 刷 費		30,000	34,700	資料印刷、リーフレット
備 品 費		180,000	228,483	資器材購入費（温度検知カメラ、非接触体温計、モバイルディスプレイ、ベルトパーテーション、電動草刈り機、工場扇他）
事 務 費		4,084	62,320	消耗品費（フェイスシールド、アルファーマ他）
役 務 費		1,000	31,460	通信運搬料 22,800 円 手数料 8,660 円
合 計	255,084	368,263		
差 引	0	5,821	次年度へ繰越	